

既存施設を利活用した小学校統合について

こころ豊かな誇れる「りんごの里づくり」を目指す新たな板柳町の町政として、町民が心豊かな生活を送るため、そして、これからの町民サービスを充実させていくために、統合小学校は町の財政等を考え、新築ありきではなく既存施設を有効活用した整備を進めます。

既存施設の利活用であっても、より良い教育環境の整備をめざし、可能な限り迅速に小学校の統合を進めます。

1 統合小学校について

(1) 4校を1校に統合する

将来を担う子どもたちが、様々な個性を持つ仲間とのふれあいを通して、社会性や協調性を育み、切磋琢磨しながら、心豊かに学び合えるよう、現在4つある小学校を1校に統合する。

(2) 板柳北小学校または板柳南小学校を改修して統合小学校の校舎とする

町内児童数の状況から板柳北小学校または板柳南小学校を統合小学校の校舎として利活用する。両小学校校舎はいずれも築40年を迎えることから、施設の状況、通学面、地理的条件などあらゆる状況を細かく調査しながら、よりふさわしい校舎を統合小学校として選定する。

(3) 板柳町立小学校統合整備審議会の意見を参考に校舎等を改修する

板柳町立小学校統合整備審議会による答申（R4年10月）内容のうち、「板柳中学校校地内に新築する」という部分を除いた、統合小学校の教育方針や施設整備、教育環境の整備などの意見については、できるだけ参考にして校舎等の改修を行う。

2 統合小学校の教育環境などの整備について

統合小学校に通う小学生たちが、長期に渡って快適に学べる教育環境となるよう、校舎や体育館の屋根・外壁の長寿命化、エアコン設置、トイレの洋式化等の改修工事を行う。

また、保護者負担の軽減を図るため、スクールバスの運行、校地内の駐車スペースの確保や放課後学童クラブの整備等を進める。

3 校舎等の改修について

既存施設の利活用であっても、改修後の統合小学校に通う小学生たちが快適に学べる教育環境とする。また、工事期間中であっても児童の良好な学習環境の保持及び安全確保等にも十分配慮された校舎等改修計画の策定を行う。